

〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
 発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
 TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
 発行人 山崎 哲
 編集長 仲井 真裕
 印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



令和4年
11月号

大悲に生きる人とあう
願いに生きる人となる



酉の市

西徳寺の予定

11月

- 3日(木) 燈虹塾 認定式
- 5日(土)・6日(日) 報恩講
- 13日(日) 午後2時半 城北ブロック会間法会
- 16日(水) 婦人会 食事会
- 19日(土) 午後5時半 同行会「勸衆偈」に聞く
法話：山崎住職
- 21日(月)～28日(月) 御正忌報恩講(本山佛光寺)
- 27日(日) 午後2時 帰命法会「伊勢大神楽」上映会

12月

- 7日(水) 午後7時半 燈虹塾セミナー
- 11日(日) 午後1時 第2回 帰命法会
～関東大震災百回忌を機縁として 第2回～
- 14日(水) 午後1時半 婦人会間法会
- 17日(土) 午後2時 定例間法会
- 31日(土) 午後3時 歳暮法要

※コロナ禍でありますので、予定は変更することがあります。
詳しくは寺務所までお問合せください。

顧問の一言

九品仏

世田谷区に九品仏という駅があります。九品とは、『仏説観無量寿經』に説かれている言葉ですが お釈迦様が韋提希という妃に、衆生の資質による往生の内容を九つに分けて説かれています。最初が上品上生じやうほんじやうじやうと言ひ、人間としてすべて整った気品のある人格者、最後に説かれる下品下生げほんげじやうは、何もかも最低の人…と伝えられてきました。

しかし、末法の時代、全ての人が下品下生の存在であり、その領きの中に阿弥陀仏の救いを見出されたのが善導大師です。



11月の山門の言葉

ブランコが揺れる現象は、当たり前のように見えて、
かなり高級な物理の概念と言える

池内^{さとる}了(宇宙物理学者)



その現象を「係数励振」と呼ぶ。ブランコは勝手に揺れるのではなく、ブランコに乗った人によってだんだん大きく揺れていくのだが、その現象には遠心力や重心が関わっていて、実は高度な数式により説明できるのだと物理学者は説く。公園でよく見かける光景も、「なぜ揺れるの?」と考えだすと途端に難問になる。そしてそれは私達のいのちにも同じことがいえる。

私たちは生きています。それはなぜなのか?考え出すと分からない。心臓、血液があつて…とか、父と母がいて…と、ある程度は説明できても決定的な回答には至らない。

これは、お釈迦様や親鸞聖人を始めとして実に多くの方々が長い間悩まれた問いである。その中で一つ気づかされるのは「その、よく分からないいのちを今こうしていただいている」ということである。たくさんののはたらきによってブランコが揺れるように、はかり知れないはたらき・縁によって私達は生きています。いのちそのもの、そしていのちを支えるものとは何かを問うことが仏道である。

先人の物理学者たちはブランコの揺れから数式を見出した。それは計り知れない苦勞の賜物であっただろう。その数式と同様に、いのちとは何かを言葉で明らかにしたのがお経である。お経とはお釈迦様はもちろん、それを聞いた名もなき数多くの人による声である。一生涯をかけて悩まれた先人の声に耳を傾けることが、生きることではないだろうか。

(高橋 淳記)

ランドマーク 浅草西の市

西の市は江戸時代に始まった、開運招福や商売繁盛を願う、11月の酉の日に行われるお祭りです。

毎年約70万人もの人出があり、多くの人が「福をかき込む」

ことに由来した、「かつこめ」とも呼ばれる「熊手守り」を求めに来られます。

入寺当時、西の市の参詣者の多さを目にした時、普段は静かな西徳寺界限に、こんなにも多くの人を訪れることに驚きました。

(大橋 伊知郎)



帰命法会 ～関東大震災百回忌を機縁として～

9月3日(土)、関東大震災百回忌を機縁とし「帰命法会」を西徳寺本堂にて勤修致しました。山崎住職導師のもと、約80名の参詣者と共にお勤めさせていただいた後、住職から法話を頂戴し、その中で「改めて私たちに与えられた“いのち”を問い直す機会である」と述べられました。その後、西徳寺とご縁を結ばせていただいた、伝統芸能社中の方々により芸能奉納が行われ、賑々しく帰命法会が閉じました。

次回は12月11日(日)第二回「帰命法会」を予定しております。午後一時から法要を勤め、その後、真宗大谷派・大島義男師より法話を頂戴し、午後二時より境内にて、「伊勢大神楽・山本いせだいかぐら やまもと源太夫社中げんだゆうしやちゆう」をお招きし芸能奉納が行われます。

第二回も多くの皆様とご一緒に法要が勤められることを願っておりますので、お誘い合わせの上、是非ご参詣ください。

副住職 大橋伊知郎



法要の様子



表白



挨拶 大谷最高顧問



法話 山崎住職

芸能奉納



小鼓 望月太左衛様



石浜小学校 太鼓クラブ様



篠笛 ミカド香奈子様



和太鼓 小林太郎様



吉福社中様



浪曲 玉川奈々福様

撮影:浮世写真家 喜千也様

城西ブロック会聞法会

去る10月2日(日)、西徳寺「梅檀の間」を会場に聞法会を開催致しました。

今回は3年振りにご出席いただいた方や、初参加の方も含め14名の方にご参加いただきました。

聞法会では山崎住職に法話を頂戴し、その中で「教えを一度聞いて分かってもらったら困る(笑)」と笑いを誘いながらも、足を運び続けて下さる皆様に「肩の力を抜いてご参加頂きたい」というメッセージが込められていたように思います。

その後は希望者のみで懇親会を行い、賑やかに時間を過ごせました。

次回は、5月21日(日)に総会・聞法会を予定しております。(大橋 伊知郎 記)



城東ブロック会聞法会

私どもの心を表す言葉として、仏教語では「散心^{さんしん}」と「定心^{じょうしん}」があります。暑いとか寒いといった周りのことに気が散ってしまう様を「散心」、そうではなくて心を一つに定める様を「定心」と呼びます。今回はこのことについて、オンラインも併用して学びました。

一見すると定心の状態に成れそうに感じていましたが、開口一番、大谷顧問からは「定心は私達にはありえない」と叱られました。ともかくも、散心と定心を通して、私達のいのちとは一体どういうことなのかを尋ねた時間となりました。

次回は、2月5日(日)に聞法会を予定しております。(高橋 淳 記)



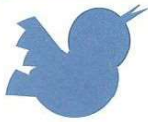
第3回TOKYO散歩会 ◆目的地・六本木(港区)

10月10日(月)スポーツの日に散歩会を開催されました。今回は浅草から六本木までの約9キロを最年少4歳の私の長男を引き連れて参加しました。東京駅で遅めの朝食(ラーメン)を食べ、道中雨に降られたりもしましたが、皇居や国会議事堂等、東京のランドマークを見ながらゆっくりと六本木まで歩きました。

小さなお子さんでも参加できるTOKYO散歩会、皆さんも参加してみませんか。

(蓮井 邦宗 記)





坊さんのツブヤッター



@テッシン

趣味っていいですね。特技ではなくて趣味・・・大切なのは上手とか下手ではなくて楽しいとか好きということ。

なかには、他人からはなかなか理解されない趣味もあります。

そして、自分で探しても見つからないのが趣味ともいえます。

趣味に出会うのも「縁」だと思います。みなさま「その趣味」を大切にしてください!

#カワサキ #Z800 #18年ぶり #安全 #乗る

えこお志お礼

葛飾区 宮崎 佐久恵 様

品川区 市田 幸子 様

江戸川区 谷 晋一 様

板橋区 木下 順子 様

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

内愚外賢

～賢者の信を聞き、
愚禿が心を顕す～

スマートフォンが普及して10年以上が経ち、分からないことはすぐに調べられ、すぐに答えが手に入る時代になりました。便利になった反面、すぐに正解を求め、間違いが許されなくなったようにも感じます。

機械には迷いや悩みがありません。しかし、人間の歴史は迷い悩みを繰り返し、時には間違いも犯してきたものでありましょう。

すぐに答えを出すのではなく、じっくり悩むという人間の原点に立って、教えに学んでいきたいと思えます。
(編集長 仲井 真裕 記)



満月寺 浮御堂(滋賀県大津市)

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com

🌐 <http://saitokuji.tobihiro.jp/>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook

「二代墓地」、各種墓地、受付中。墓石への法名刻みはお問い合わせください。